



平成26年5月23日発行
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 TEL.042-585-1111(代)
きょういし

日野市教育広報 第97号

発行 日野市教育委員会(編集 教育部学校課)

教育目標

ひのっ子 世界へ
のびようとも
くろう夢を
こえよう自分を

紙面から

- 第2次日野市学校教育基本構想 1
- 中学校の窓 2
- 日野市発達・教育支援センター、新しい校長先生の紹介、他... 3
- 新選組のふるさと歴史館・企画展「幕末動乱」、他... 4

子供たちの発の学びと実践を育む日野市の教育 第2次日野市学校教育基本構想

平成26年3月、日野市教育委員会は、第2次学校教育基本構想を策定しました。「地域と共につくる基本と先進の教育」を掲げ、「教育のまち日野」を目指して、「21世紀を切りひらく力」、「次代をつくる特色ある学校づくり」、「つながりによる教育」の3つの基本方針に基づき、12の項目と36の取組を推進し、子供たちが発の学びと実践を育んでいきます。

基本方針1 かかわりの中で知恵を出し合い、自立・協働・創造に向けた「21世紀を切りひらく力」を豊かに育みます

基本方針1では、子供たちに育てたい資質や能力についてまとめました。子供たち一人一人が人間としての望ましい生き方、在り方を求め続ける中で、自分らしさを発揮し、地球規模で考え、実践・行動し、21世紀を切りひらくことを期待しています。

第2次学校教育基本構想は、グローバル化や少子高齢化、高度な情報化をはじめ、急激に社会状況が変化する21世紀の状況を踏まえ、策定に当たりました。子供たちにはたくましく生きていくために、人との豊かななかかわりを通して、個性を磨き合い、新しい課題や答えを創り出していくことが望まれています。そのため、学校や家庭、地域など、多くの人たちとかわり合いをもつて生きる中で、お互いの個性を尊重し合い、認め合うことが一層大切になります。

また、平成25年度までの学校教育基本構想では、「ICT活用教育の充実」「特別支援教育の充実」「幼保小中連携教育の充実」「生活指導の充実」を4つの重点施策として、子供たちの豊かな学びを支えていけるよう取り組んでまいりました。この4つの重点施策は、基本施策

として継承し、さらに充実させながら子供たちの学びを支えてまいります。

日々の学校教育の場を通して、子供発の学び、子供が主体となる学びの姿を育て、子供たち自身が新しい課題や答えを創り出し、よりよい自分と社会を切りひらく実践力や行動力につなげていくことを目指してまいります。

基本方針2 質の高い教育環境を整え、「次代をつくる特色ある学校づくり」に取り組みます

基本方針2では、学校や教職員が取り組む方向性をまとめました。以前から取り組んできましたICT活用やユニバーサルデザインの視点に基づいた環境づくり、授業づくりなど、質の高い教育環境を整え、個性と創造性のある優れた教育力により、次代をつくる特色ある学校づくりに励むことを目指します。

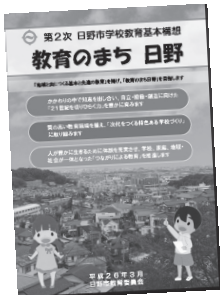
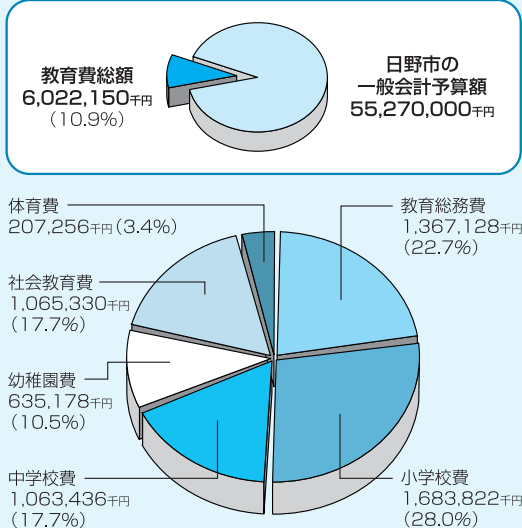
教職員は、深い子供理解に基づき人権感覚や授業力、専門性を高め、子供たちが主体となる魅力ある学級や授業をデザインし、子供たちの確かな学びを保障していきます。そのために教員が、基礎的な学びを充実させるためのきめ細やかな設計力と、子供同士の柔軟な学び合いを支えるデザイン力を身に付けられるようにします。

基本方針3 人が豊かに生きるために体験を充実させ、学校・家庭・地域・社会が一体となった「つながりによる教育」を推進します

基本方針3では、学校、家庭、地域・社会など子供たちを取り巻く様々な方に取り組んでほしい内容をまとめました。

平成26年度 教育費の予算構成

平成26年度の市の一般会計予算は、552億7,000万円です。このうち教育費は、10.9%の60億2,215万円です。



子供たち一人一人を大切にすることを根底に据え、21世紀を切りひらく力を育てるために、日野の地に根差して地球規模で考え、実践し行動することが大切です。子供たちに、①自分の地域や郷土を知り、日本の伝統・文化を学び、地域・社会の一員としての誇りをもち、自ら地域・社会とかかわろうとする態度を育てること、②グローバルな世界で活躍するために、外国語を用いたコミュニケーション能力を向上させるだけでなく、自らの考えをもち論理的に考える力、柔軟な対応力や許容力などを鍛え、よりよい社会を築いていくために努力を惜しまない態度を育てること、③様々な人とのかわりや交流を通して、自分と異なる価値観や文化に出会い、人と心を通い合わせて、自分を見つめ、夢の実現に向けて自分

をこえようとする態度を育てることを目指しています。そのため、学校、家庭、地域・社会が、それぞれの役割を自覚し、連携・協力しながら、みんなで子供たちの教育を支援していくことが大切です。地域にある様々な力を結集し、子供たちの育ちと学びを支えていくことを目指しています。

第2次日野市学校教育基本構想は、平成26年度から平成30年度までの計画となっています。

次代を担うひのっ子の成長のために、ご協力をお願いするとともに応援をよろしくお願いいたします。

コラム

ひのっ子のために



教育部教育指導担当参事
記野 邦彦

4月1日付けをもちまして、教育部教育指導担当参事を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

日野市教育委員会では、第2次日野市学校教育基本構想を3月に策定しました。今年度から5年間にわたって、基本方針1〜3に基づいて、12の項目と36の取組を推進していきます。これらの具体的な実践を通して、未来の日本、世界を担うひのっ子を学校、家庭、地域・社会が一体となって育んでいきます。私は街を知るには、その土地を歩いて感じるのだと考えています。まだまだ未知の部分がありますが、水の流れを中心とした自然の豊かさ、歴史と文化の場が多様に拡がると夢が膨らみます。これから、ひのっ子の笑顔が輝き、大きく成長していくため、全力で頑張っていきます。多くの皆様にご支援賜りますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

中学校の窓

中学校の紹介

「ホームページも、開いてみてください」

日野市の各小中学校では、特色ある学校づくりを目指し、様々な取り組みを行っています。

今号では、中学校の様子を紹介します。

紹介する内容は、各校のホームページや学校便りの入口です。

詳しくは、各校のホームページをご覧ください。

(学校課)

日野第一中学校

校長 石村 康代

ひまわりの心



本校の校章はひまわりをデザインしたものです。太陽に向かって咲くひまわりの姿は、理想に向かって進む中学生の力強い姿を表します。また、ひまわりは多くの花弁が集まって一つの大きな花をつくっていることから、本校生徒の一人一人が協力して学校生活を充実させていく姿を表します。ひまわりの校章に込められた意味と願いを受けて、保護者の皆様、地域の方々と共に協力しながら、ひろい心、まけない心、わかちあう心、理想を求める心を育んでいきます。

生徒は、落ち着いた学習や学校生活を送っています。土曜日補習(国語、数学、英語)を含む学力の向上と、部活動の充実を目指した「一中プロジェクト」も四年目を迎え、着実に成果をあげてきています。本年度は、学力向上を重点として一層充実した取り組みを行っています。また、様々な学びのニーズに応えるリソースルームは、一層充実を図っていきます。

<http://www.j-hino1.hino-tyky.ed.jp/>

日野第二中学校

校長 尾形 斉

『自主・自律・思いやりの心』の育成を目指します。



本校では他を大切にし、自分を大切に、自校を大切にできる生徒の育成が大きな目標です。

一、生徒の基礎学力の向上を目指すこと。
二、規範意識・正しい判断力・我慢力・素直な心・思いやりの心を身に付けさせること。
三、今年度は開校60周年の記念の年であり、二中にとって大きな節目の年度です。
二中の新たな創造のために、生徒・教師・保護者・地域が一体となって地域と共に歩む学校を目指します。

*本校の特色ある教育
・心と身体を育む『生き方教育』の充実
・基礎学力の充実：五教科による教科教室型の授業(授業の工夫・改善)補習授業の充実(漢検・英検の支援体制の充実等)
・道徳授業の充実(全校道徳の実施、特別活動の充実)
・食育教育の推進(農作業体験・エコクッキング・弁当の日・食料学習・食育バーティカル等)
・地域との連携教育の充実：地区育成会との連携(三世代の集い、初日の出ふれあいマラソンの参加等)



生徒会によるあしなが募金活動

<http://www.j-hino2.hino-tyky.ed.jp/>

七生中学校

校長 中村 宏

一人一人の生徒が生き生きと輝く学校



本校の目指す生徒像は、「将来の夢に向けて努力し、自信をもって進路を切り開く生徒」「礼儀正しく、真面目さや正義を大切にする生徒」「互いに思いやりの心を持ち、力を合わせてより良いものを目指す生徒」です。そして生活指導では「あいさつと校歌の七生中」のスローガンの実現に向け、全校で取り組んでいます。

また本年度は「オリンピック教育推進校」として、スポーツに親しみながら体力向上・健康増進ができる生徒の育成を目指しており、部活動も活発で大会等での実績も重ねています。さらに「理数フロンティア校」の指定を受け、どの生徒にもわかりやすい授業づくりの研究実践に取り組んでいます。

<http://www.j-nanao.hino-tyky.ed.jp/>

日野第三中学校

校長 中嶋 建一郎

生徒一人一人を大切にしている学校



三中の建学の精神である「自主・自立」は、生徒の中に脈々と引き継がれ伝統となっています。

自主・自立の力をさらに高めるため、生徒一人一人を大切にする学校を目指していきます。

「三中プロジェクト事業」による補習教室や英検教室等の基礎学力を定着させる取組、やまなみ学級やリソースルームを活かした個に応じた指導、授業のユニバーサルデザイン化等、一人一人の生徒が自分の力を最大限発揮できるよう支援していきます。

<http://www.j-hino3.hino-tyky.ed.jp/>

日野第四中学校

校長 須藤 昭人

「元気なあいさつの響く学校」



今年の日野第四中学校の目指す学校像は「(1) あいさつができる学校 (2) 楽しく安全な学校 (3) 夢や希望を育むことができる学校」としました。

その実現のために、学力向上を目指して授業規律を確保し、楽しく安全で、あいさつができる学校を実現させるとともに、保護者・地域との連携と教育力の導入を推進します。

これまでのよい伝統を継承し、さらに校風を向上させながら、生徒達の社会で生きて働く力を育てていきます。

<http://www.j-hino4.hino-tyky.ed.jp/>

三沢中学校

統括校長 正留 久巳

「生徒一人一人を大切に、鍛え可能性を伸ばす学校」



学ぶ姿勢づくりを重要な視点とし、その基礎・基本を身につけさせることを大きな目標としています。生活指導は生き方の基盤づくりとして、あらゆる機会を捉え指導しています。また道徳教育を大きな柱とし、指導法の工夫改善をおこなっています。そして知徳体のバランスの取れた生徒の育成を目指しています。三沢中の目指す生徒像は、「①自ら学び、考え、生き生きと活動し、表現できる生徒②豊かな心を持ち、思いやりのある生徒③自らを鍛え、心身共に健康な生活ができる生徒」です。「頑張る時はいつも今」を合言葉に、学習に部活動に全力で取り組む姿勢を大切にしています。



朝礼の様子

<http://www.j-misawa.hino-tyky.ed.jp/>

大坂上中学校

校長 高橋 清吾

「学び場 ホワイト&ブルー 坂中の充実を目指して」



「学び場」を学び場として充実させるためには「落ち着いた学習環境」と「お互いに学び合う授業」が大切となります。落ち着いた学習環境をつくるために、今年度は校内環境の美化と授業規律の徹底を目指します。使い込まれた美しさ、汚さないようにする姿勢、授業規律とルールを守ることを通して、真剣に学ぶ環境を作り上げていきます。

お互いに学びあう授業では、生徒に課題解決型の授業や言語活動を取り入れた授業、発表やICTを活用した双方向型の授業などを通して、先生と生徒、生徒と生徒のつながりを密にしていく授業を大切にしていきたいと考えています。また、コミュニケーションと人間関係の基盤をつくるのは挨拶です。しっかりと元気な挨拶ができる生徒の育成も目指します。これらを中心に「学び場 ホワイト&ブルー 坂中の充実」を目指していきます。

<http://www.j-ohsakaue.hino-tyky.ed.jp/>

平山中学校

校長 秋山 譲児

あきらめない生徒を育てたい



学校には、生徒の人格形成を担う使命があります。平山中学校は、一人一人の生徒に二十一世紀を切りひらく力を育むため、以下のような学校創りを行っています。

○安全で、安心して生活できる学校
○一人一人が大切にされ、楽しいと実感できる学校
○夢や希望を育むことができる学校
○鍛え、可能性を伸ばすことのできる学校
教育は、すべての大人たちの英知と責任を結集する必要があります。保護者・地域と力を合わせ、平山の地に根ざした、つながりを大切にした教育を推進してまいります。

<http://www.j-hirayama.hino-tyky.ed.jp/>



日野市発達・教育支援センター 「エール」が 開設しました。

4月より、日野市発達・教育支援センター「エール」が開設されました。「エール」では、福祉と教育が一体となり、日野市在住のご本人や、そのお子さんの育ちや発達に不安を持つご家族とその関係者を対象に、相談支援・発達支援・教育支援・療育支援を行います。

◆施設の3つの特徴

- ・発達や教育に係る相談・支援窓口を一本化し、相談・支援体制を分かりやすくします。
- ・福祉と教育の連携による、切れ目のない支援を行います。

◆相談受付

- ・月曜日から金曜日
- ・総合相談
午前9時から正午、午後1時から午後6時まで
- ・就学相談
午前9時から午後4時まで
- ・教育相談
午前10時から午後5時まで
- ・電話番号（総合受付）
042-589-8877

◆エールの組織について

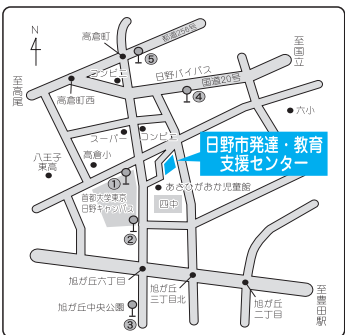
エールには、教育委員会の教育支援課と、健康福祉部の発達支援課が設置されています。

◆教育支援課の業務について

- ・電話番号

◆子供のこころ電話相談

子供の心の悩みについて、子供本人や保護者からの相談を受ける電話です。



- ・受付時間
午前10時から午後5時まで
- ・開館日時
月曜日から金曜日（祝祭日、年末年始は除く）
午前9時から午後6時まで
※来館相談は予約制です。
- ・所在地等
日野市旭が丘2の42の8
・アクセス
JR中央線豊田駅から徒歩25分（17キロ）

- ◎JR中央線 豊田駅よりバス
①ミニバス 豊田駅⇨旭が丘循環
市営長山団地西下車 徒歩3分
- ②ミニバス 豊田駅⇨旭が丘循環
首都大学東京前下車 徒歩4分
- ③路線バス 豊田駅⇨平山工業団地循環
旭が丘中央公園下車 徒歩7分
- ④路線バス 豊田駅⇨八王子駅
首都大学東京入口下車 徒歩8分
- ◎JR中央線 日野駅よりバス
⑤路線バス 日野駅⇨八王子駅
高倉町下車 徒歩12分

新しい校長先生の紹介

新しく着任及び転任された校長先生を紹介いたします。

「郷土あいを育む 学校づくり」をめざして



旭が丘小学校
校長 井口 進

石田恒久校長の後任として、八王子市立上川口小学校より着任しました。教子どもを中心とした、教職員と保護者、地域の皆様とが協力し合える関係をさらに構築していきたいと考えています。

また「知識とは、良きことを分かち合うためにある」という諺の通り「学力」を「生きる力」となるように旭が丘小の特色である日本一の雑木林も活用しながら、心豊かな子ども達を育てていきたいと思っています。

どうぞ宜しくお願い致します。

「自主・自立」を 大切に



日野第三中学校
校長 中嶋建一郎

石村康代校長の後任として、青梅市教育委員会より着任しました。日野市では、平山中学校で教諭として8年間、大坂上中学校で主幹教諭として2年間、日野第二中学校で副校長として2年間お世話になりました。

日野第三中学校の建学の精神である「自主・自立」を大切に、教育目標「自ら正しく判断し、責任をもって実行する人となる」を目指し、生徒を育成してまいります。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

日野市メール配信サービス



あらかじめ登録していただいた携帯電話やパソコンのメールアドレスに、不審者出没や災害発生等の情報を配信するサービスです。

また、お子様の通う学校や幼稚園、学童クラブからの情報も受け取れます。

提供する情報

左記から受信を希望する情報をお選びいただけます。

- ① 不審者情報
- ② 学校・幼稚園生活情報および学童クラブ情報
- ③ 防災安全情報
- ④ 高齢者行方不明情報
- ⑤ 障害者行方不明情報

新規の登録手順

- ① 左記の登録用メールアドレスに空メールを送信します。
- ② 数分後に返信メールが届くのでメール内のURLをクリックします。
- ③ 登録フォームが表示されるので質問項目に答えて『確認』ボタンを押してください。
- ④ 確認ページで間違いがなければ『登録』ボタンを押してください。数分後に登録完了メールが届きます。

削除手順

- ① 削除用メールアドレスに空メールを送信します。（d-hino@kme.jp）
- ② 数分後に返信メールが届くのでメール内のURLをクリックします。
- ③ 削除フォームが表示されるので『削除する』ボタンを押してください。
- ④ 数分後に登録削除完了メールが届きます。

登録内容変更（更新）手順

新規登録と同様の手順で、変更（更新）をしてください。

※登録・削除・変更（更新）の手順は、日野市ホームページでもご覧いただけます。

利用条件・注意事項等

- ・4月より、新システムに移行したことから、空メールの送信先が、従来と変更になっていますので、ご注意ください。
- ・ご登録いただいた情報は本サービス以外の目的では使用しません。
- ・本サービスは契約業者のシステムを利用して行います。ご登録いただいた情報は、業者が24時間有人監視しているデータセンターに保管されます。情報提供料は無料ですが受信料金等は自己負担となります。
- ・メールの遅延等が生じて一切の責任は負いかねます。
- ・配信したメールが連続して届かなかった場合は自動的に登録を解除することがあります。

登録用メールアドレス

hino@kme.jp

バーコードリーダー付きの携帯電話の方は、QRコードを読み取って、そのまま送信。



※お使いの携帯電話で「指定受信」をされている方は空メール送信前に、mail-haisin@city.hino.lg.jp というアドレスを受信可能に設定してください。

企画展「幕末動乱」

新選組のふるさと歴史館

みなさんは日野が「新選組のふるさと」と呼ばれていることを知っていますか？5月の第二土・日曜日には、「ひの新選組まつり」が毎年行われています。京都の治安などを守っていた新選組が活躍した「幕末」、日本はどのような状況だったかご存知でしょうか。

今から160年前、日本は外国との貿易を制限したり、日本人が海外に行ったりするのを禁止する「鎖国」という状態でした。しかし、アメリカのペリーが率いる軍艦が日本に来たことにより、日本は激動の時代へ突入していきました。開国（鎖国をやめること）しようとする人と、開国せず外国の人たちを排除する「攘夷」という意見の人と日本は大きく分かれました。



ペリ肖像(日野市所蔵)

新選組のふるさと歴史館では、この開国と攘夷に分かれた江戸時代最後の「幕末」を紹介する企画展「幕末動乱・開国から攘夷へ」を開催しています。

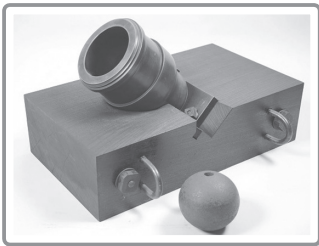
この展示は、茨城県土浦市や栃木県壬生町、東京都板橋区の博物館と共同で行っています。普段、日野では見られない当時の様子を描いた絵や地図、鉄砲や兜などの資料が、茨城県や栃木県、板橋区からやってきます。もちろん、日野と関係が深い新選組隊士の手紙や江戸の治安を守っていた新選組の資料も見ることが出来ます。ぜひ、幕末を中心とした当時の貴重な資料を見られるチャンスです。で、新選組のふるさと歴史館に来てください。

また、企画展開催にあわせて4館の博物館をめぐるスタンプラリーも開催しています。スタンプを集めると素敵なプレゼントがもらえます。詳しくは歴史館のホームページやチラシをご覧ください。

【期間】5月17日(土)～7月13日(日)
開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）、休館日は毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館）です。入館料は高校生以上が200円・中学生は50円です。

皆様の来館をお待ちしております。

【問合せ】新選組のふるさと歴史館（電話583・5100）



13ドイムモルチール砲
(板橋区立郷土資料館所蔵)

公民館講座

春休み小学生集まれ!
わくわく学習術
が開催されました



3月26日(水)と27日(木)の2日間にわたり中央公民館高幡台分室で開催されました。市内の小学校に通う3年生から6年生までの児童24名が受講し、テーマは浮力、気圧について考えよう！でした。

参加した小学生の声
◎紙ヒコーキづくりでは、「い

家庭教育通信 ④

平成26年度第1回家庭教育学級講演会

「子どもの心を整える」やってみたい親の習慣」のお知らせ

しつけ・親子関係など、家庭教育についての講演会を開催します。どうぞお気軽にご参加ください。

一学期は、入学や進級で環境が変わり、子どもの心が不安定な時期です。

いつもと変わらないようでも、時には子どもの行動や表情がちよっと気になることはあります。

そんな言葉に表れない子どもからのサインに気づき、子どもの心を整えるために、親として

やってみたい大事な習慣や、ほめ方・叱り方などについてアドバイスをいただきます。

【対象】小中学校PTA、その他子育てに関心のある方。
(主に小学校1～3年生の保護者向けですがどなたでもご参加いただけます)

【日時】平成26年6月21日(土)
午前10時から11時30分

【会場】ひの煉瓦ホール(市民会館)小ホール

【講師】河井 英子 氏(田中)

教育研究所員・元日野市教育委員会教育相談員
【参加申込】電話にて生涯学習課(042・585・1111内線5312)へ直接申込。
6月2日(月)より受付開始。(当日参加可)

【その他】1歳以上の未就学児の保育あり。参加申込時に要予約。先着6名。6月2日(月)から13日(金)まで受付。

(生涯学習課)

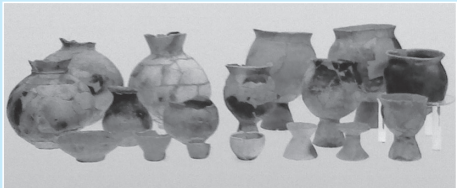
「どっけし土器展」の開催

日野市内から発掘された土器・石器・木製器を中心とした展示を通して、旧石器時代から近世までの移り変わりをみる事ができます。

驚くほど精巧な旧石器時代の石器や、芸術的で独創的な形や模様をした縄文土器を展示します。

市役所の近くの神明上遺跡から発掘された弥生時代の終わりから古墳時代はじめの土器群は、この時代の代表的な土器で日野市の文化財に指定されています。古墳時代から奈良・平安時代の特徴的な形の土器とともに、墨で文字の書かれた器や木で作られた食器や農具(木製品)なども展示します。木製品は水につかって発掘されたため腐らずに残っていたもので、特殊な処理をして展示できるようにした珍しいものです。

展示を通して昔の人々の生活について様々な興味や疑問が湧いてくると思います。ぜひ一度



神明上遺跡出土の弥生時代終末～古墳時代初頭の土器群。(日野市指定文化財)
同じ住居からいろいろな種類の土器が、まとまって出土したとても貴重な例です。

(郷土資料館)

東京文化発信プロジェクト

パフォーミング・アート・フェスティバル「21世紀ダンス舞踊のついで」

この事業は、ダンスや演劇のプロのアーティストと共に10日間のワークショップを通じてオリジナルの舞台作品を創作し、最終日にひの煉瓦ホールで発表公演を行います。

ダンスカンパニー、21世紀ゲバゲバ舞踊団と一緒に踊りませんか？

【日程】7月29日(火)～8月1日(金)、8月5日(火)～10日(日)
※全10日間

【対象】全日程参加可能な小学3～6年生

【定員】15名(応募者多数の場合、抽選)

【参加費】無料

【会場】ひの煉瓦ホール 小ホール

【応募締切】6月3日(火)

【参加申込方法】
○ファックス・メール
件名を「ひの煉瓦ホール参加申込」として①参加者の氏名(ふりがな)、②性別、③学年(生年月日)を記入してください。

【後援】日野市教育委員会
【お申込・お問合せ】
NPO法人 芸術家と子どもたち
(電話)03-5961-5737
(FAX)03-5961-5738
(メール)pk-part@children-artnet.jp
(HP)http://www.children-artnet.jp/

または文化スポーツ課(問合せのみ)

絵本読み聞かせ入門講座

図書館では小学校などで集団に向けて初めて読み聞かせをする方のために、「絵本読み聞かせ入門講座」を開催しています。昨年度は2月28日(金)に高幡図書館で開催しました。

講座では始めに図書館職員から絵本の読み聞かせについての話や絵本の紹介をしました。そ

④住所、⑤保護者名、⑥電話番号、⑦折り返しの連絡方法(ファックスもしくはメール)、⑧参加理由を書き、左記へファックスかメールで。

※参加申込受付後、1週間以内に事務局より申込確認のご連絡をいたします。

※郵送・お電話での申し込みはお受けできません。

【主催】東京都／東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京歴史文化財団)／特定非営利活動法人芸術家と子どもたち／日野市市民会館文化事業協会／日野市

の後グループに分かれてそれぞれの持ちになった「読み聞かせしてみたい絵本」をお一人ずつ読んでいただきました。皆さんとても熱心に参加してください。他の参加者の方々の読み方を見ることができて参考になった」という感想や「良い経験になった」等いろいろな意見をいただきました。

図書館では講座以外にも絵本の読み聞かせについてのご相談を受け付けていますので、どうぞお気軽にお声がけください。

(図書館)